

電波時計（デジタル電子音目覚まし時計）取扱説明書

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
- 音声で時刻をお知らせ
- カレンダー・温度表示
- 携帯に便利なコンパクトサイズ

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y1008)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、3年間で基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。

お問い合わせに際しては、製品番号（型番）「8RZ109」をお伝えください。

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
（フリーダイヤル）


受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）


安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。


■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


 「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）


 してはいけない「禁止」内容です。

 必ず実行していただく「強制」内容です。


■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

液晶表示板について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する所。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

おもな製品仕様

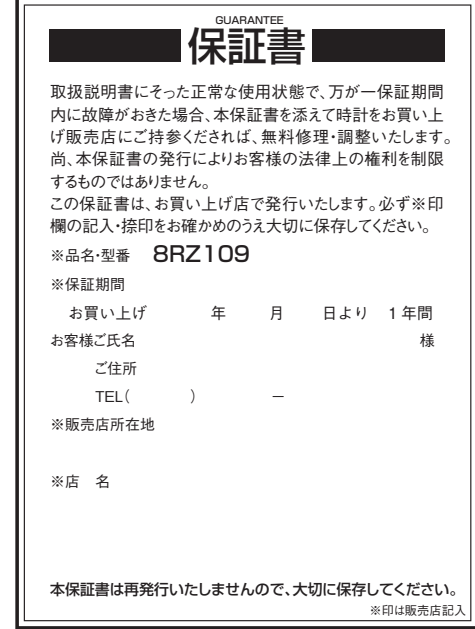
使用温度範囲	-10～50℃ （液晶表示可読温度範囲0～40℃）
時間精度	表示精度 標準電波受信成功直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30 秒（常温中のクォーツ精度）
使用電池	単4形アルカリ乾電池 JIS 規格 LR03 2個
電池寿命	約1年 アラーム：30 秒 / 日、照明：3 秒 / 日 使用
標準電波受信局	標準電波を受信して日付・時刻を修正 福島局 / 九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の16分40秒に受信を開始
受信 ON/OFF	ボタン操作にて切替可能
音声機能	時刻、アラーム時刻の読み上げ
音量調節	固定
アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して ±0 秒
アラーム音	電子音 鳴り方が変化
スヌーズ	あり（止めてもまた鳴る）
オートストップ	あり（自動鳴り止め）
カレンダー	2009～2099 年対応
温度表示	-9.9～+50℃
温度精度	±2℃ 測定温度範囲内での精度
照明	液晶表示部バックライト

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなったり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 単4形アルカリ乾電池 2個 取扱説明書・保証書 本書



電波時計について

電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波（JJY）は、日本標準時（JST）をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（http://jij.nict.go.jp）

電池のご注意（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手の届かぬところに置く。

電池の種類について


- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。ⓧ アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例、Panasonic オキシライド乾電池）


取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

- 電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 時計を使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。


 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

 火に入れると破裂の原因となり危険です。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。
- 電池を取り外してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

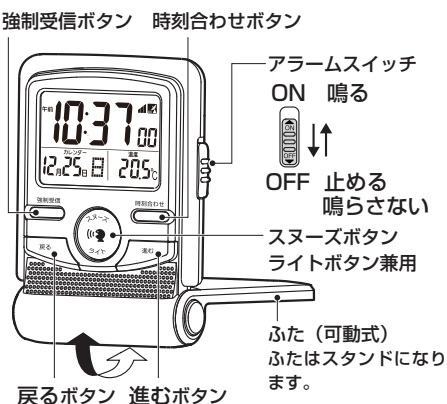
この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなら責任を負いません。

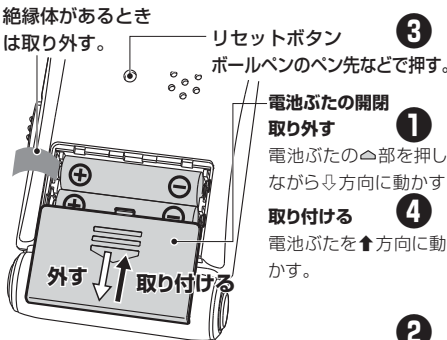
1 電池を入れて時刻を合わせる

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

(正面)



(裏面)



電池2個を電池ホルダーの⊕表示に合わせて入れる。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ**をお読みください。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- 電池ふたを取り外す
- 電池を入れる
図のように電池を入ると「ピー」と鳴ります。
※短い時間に電池を入れ替えると鳴らないことがあります。
※電池の⊕を逆向きに入ると液もれ、発熱、破裂の危険があります。
- リセットボタンを押す
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
◎ 受信中はボタンに触れないでください。
- 電池ふたを取り付ける
- 21分経過したら受信結果を確認する
受信時間は、最長で21分程度です。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照

電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に**進む**または**戻る**ボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押しつづけると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化
電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)

受信できない → 受信しやすい

- 1
- 2
- 3
- 4

チェック!
1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

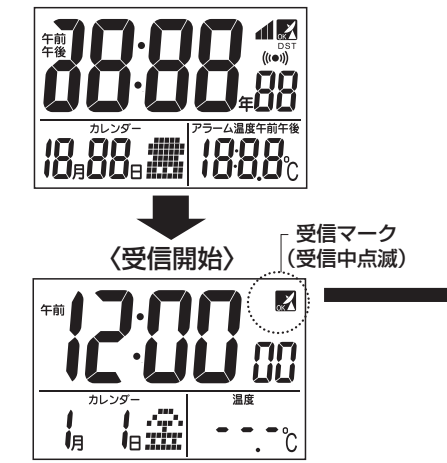
電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

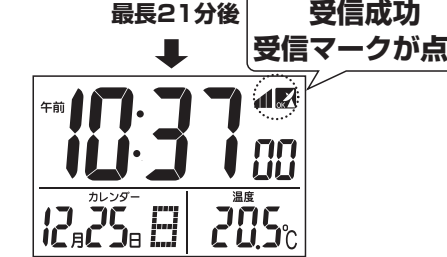
【受信の流れと表示】

〈リセットボタンを押した直後〉



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2010年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

〈受信終了〉
最長21分後



受信マークは受信成功後、24～25時間点灯 (受信に成功したときの表示例)

受信マーク消灯
失敗!



※受信に失敗した場合は、時刻や日付は正しくありません。

受信マークが点灯し受信成功を示しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせるにより、ご使用になれます。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になる際には、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF (無効にして手動で時刻を合わせる)

- リセットボタンをおよそ1秒間隔で3回押してください。
- 「ピー」と鳴ってから押してください。
- OFFになると「ピー」と鳴りません。
- 日付および時刻は手動で合わせてください。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

受信機能 ON (有効にして受信を開始する)

- 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って受信を開始します。その後**戻る**ボタンを離してください。
- 標準電波を定期的に受信して標準時刻に合わせます。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを約2秒間押しつづけてください。受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。つぎのようなときは受信を開始しません。

- アラームが鳴っているときやスヌーズ中
- 手動でアラーム時刻または時刻を設定している最中
- 受信機能がOFFになっているとき

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2010年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

手動での時刻合わせ

標準電波を受信できないときや海外で使用するときは、手動で日時を合わせることができます。このときの時間精度は、クォーツ精度になります。



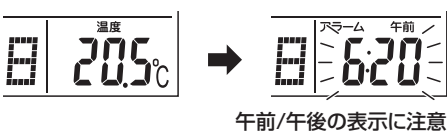
- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづけます。
- 西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - ▶進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。押してすぐ離すと1つ単位に変わり、押しつづけると連続して変わります。
 - ▶時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。

- 電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると時刻を修正します。
- ◎ 電波受信機能のON/OFF操作 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- 電波を受信できないときの時間精度は、平均月差 ±30秒になります。
- 電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信を中止して時刻合わせ状態になります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても、切り替わりません。

2 アラーム機能

アラーム時刻を合わせる

アラーム時刻のときは「アラーム」が点灯

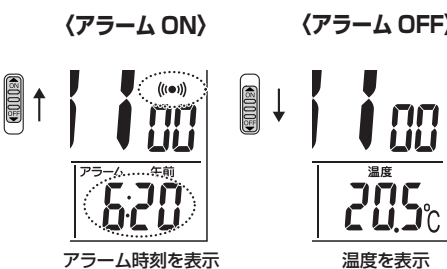


表示例

アラームスイッチがOFFのときに、アラーム時刻を午前6時20分に合わせる。

- 進むまたは戻るボタンを押す
「アラーム」の文字が点灯し、アラーム時刻が点滅します。
- アラーム時刻を合わせる
進むまたは戻るボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづげると早く変わります。
- アラーム時刻合わせを終わる
およそ5秒間ボタン操作をしない。

アラームスイッチのON/OFF設定



- ON : 設定時刻にアラームが鳴る。
 - ▶アラームマーク(●)が点灯してアラーム時刻を表示。
 - ※温度を確認するときは、アラームスイッチをOFFにしてください。
- OFF : アラームを止める、鳴らさない。
 - ▶アラームマークが消灯して温度を表示。

アラーム音の試聴

アラーム時刻を現在時刻より、1～2分進んだ時刻に合わせて、アラームスイッチをONにしてください。アラーム時刻になるとアラームが鳴り出します。

オートストップ機能 (自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約2分間で終了します。

スヌーズ機能 (止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(●)が点滅し、約5分間アラームが停止し、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(●)は点灯表示になります。

アラームご使用上の注意

アラームマーク(●)が点灯しているときは、アラームスイッチがOFFにされるまで毎日アラームが鳴ります。

3 音声機能について 音声により、現在時刻やアラーム時刻をお知らせします

▶現在時刻を知りたいとき

スヌーズボタンを押すと、「ピー 午前10時37分です」のように音声流れます。秒は読み上げません。

▶アラーム時刻を知りたいとき

戻るまたは進むボタンを押してすぐ離すと「ピー アラーム時刻を合わせます。ピー アラームは午前6時20分です。」のように音声流れます。
◎戻る／進むボタンを約5秒間押さないでください。押すとアラーム時刻が変わります。

操作音声ガイド

手動で時刻を合わせるときやアラーム時刻を合わせるときに音声が流れます。

手動時刻合わせのとき

設定する項目、たとえば「ピーピー 年を合わせます」や「ピー 月日を合わせます。」と流れますが、戻るまたは進むボタンで設定している年、月日、時刻は読み上げません。設定が終わると時刻を読み上げます。

アラーム時刻合わせのとき

設定している時刻を読み上げます。戻るまたは進むボタンを押しつづけると音声が流れません。また、早押しすると音声と表示されているアラーム時刻に違いがありますが、操作を終えるときには、設定した時刻を読み上げます。

アラームスイッチをON/OFFするとき

ONにすると「ピー アラームは午前〇時〇分です。」 OFFにすると「ピー。」

電波の受信を開始するとき

- リセットまたは強制受信ボタンを押したときは、「ピー 電波を受信をします」と音声流れます。
- 受信機能がOFFのときには音声が流れません。
- 受信結果は音声でお知らせしません。

※音声機能のON/OFF、音量調節はできません。

※他の操作説明のなかでは、音声が流れる場面でも説明を省略しています。

4 表示面の照明

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねていますので、ボタンを押すと表示面が約3秒間照明されます。照明時は正面やや上方より見てください。他の方向から見ると読めないことがあります。

5 温度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。測定範囲を超えたときの表示 「HH.H」 50℃より高温 「LL.L」 -9.9℃より低温

- 設置場所について
空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
- ◎本製品は室内用です。また、厳密な温度管理をする用途には適していません。
- ※証明や商取引には使用できません。
- ※結露するところでは使用できません。

電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- ⚠ 注意
電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。
- 液晶表示が薄くなったり、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕を逆に入れない。

操作例. 2011年12月25日 午前10:37に合わせる

- 時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押しつづけます。
- 進むまたは戻るボタンで年を「2011」に合わせて、時刻合わせボタンを押します。
- 進むまたは戻るボタンで月を「12」に合わせて、時刻合わせボタンを押します。
- 進むまたは戻るボタンで日を「25」に合わせて、時刻合わせボタンを押します。
- 進むまたは戻るボタンで時を「10」に合わせて、時刻合わせボタンを押します。
- 進むまたは戻るボタンで分を「37」に合わせます。このとき進むまたは戻るボタンを押すたびに「0」秒に設定されます。
- 時刻合わせボタンを押して設定を終わります。